

一人ひとりが違いをもたらすことができることを信じるのです。ライオンズとして結  
束した時、世界全体を変えることが可能であることを信じるのです。誰かの人生、あるい  
は世界を変えることは、私たち一人ひとりから始まることを信じるのです。



国際会長 ウィンケン・タム  
2011～2012年度会長テーマ

中国の黄河

「できそうだと  
思うのではなく、  
必ずできると  
信じるのです。」

—ウィンケン・タム



ライオンズのメンバーとして私たち一人ひとは一滴の水にすぎませんが、結集すれば世界一力強い奉仕の大海となります。

黄河は世界第7番目に長い川で、その長さは5,464kmにも及びます。中国北部の文明を生みだし、何百万もの人々に繁栄をもたらしてきた黄河は、「中国文明のゆりかご」とも呼ばれます。これほどの大河であっても、バヤンハル山脈の高地を水源とし、ちよろちよろとわき出る滴りとしての謙虚な始まりがあります。それが北西へと流れるにつれ力を増し、それから北東へと流れ、南へ曲がり、そして最後に東へと七つの省を通り抜けながら1億2千万を超える人々を支えています。

このような大きな力のあるものが極めて小さなものから始まるとは驚くべきことです。

ライオンズクラブ国際協会の始まりもつつましいものでした。私たちの創始者メルビン・ジョーンズと数人の仲間が最初の水滴となり、94年後の今日、世界を変え、何百万という人々に恩恵をもたらしてきたのです。



## 信じる

メルビン・ジョーンズは、あらゆることを可能とする優れたものを一つ持っていました。信じたのです。そのときすでに、「思うこと」と「信じること」の違いが心の持ちようであることを知っていました。

私にとって、信じるということと思うということは違います。なぜならば、信じるということには下記の三つのカギとなる要素があるからです。

### ● 勇気 ● 決意 ● 行動

ライト兄弟が初めて試みた飛行に失敗したように、たとえ初めは失敗したとしても、強い信念がありさえすれば、他の人々が不可能だと思ったことをやってみようという勇気がわかります。次に、繰り返し何度も試し、他者にもそうする気を起こさせる決意が必要です。そうしたら最後は行動を起こさなければなりません。さもなければたわいない夢想として終わってしまいます。

こうした資質ゆえにメルビン・ジョーンズは一滴のアイデアを、世界を変え得る川にすることができたのです。ジョーンズは社会に還元することの意義に対する信念と、一人でも違いをもたらすことができるのだという信念の下に、一つの文化をつくりだしました。恵まれぬ人々に奉仕する組織を作るという自らの考えを信じ、勇気をもってそれを追求し、組織を成功させることを決意し、そしてすべてを結実させるために必要な行動を取ったのでした。1917年においてさえもメルビン・ジョーンズは、会員が一人加わるごとに、そしてライオンズの存在する地域が増え、その過程で何百万もの人々に奉仕を提供するごとに、私たちが力を増すことを知っていました。

世界的な奉仕組織へと育つこととなる一粒の種に最初の一滴水が息吹を与えてから94年経った今日

も、ライオンズクラブ国際協会は発展を続けています。発展への道は一世紀近くの間四方八方へと広がっていきました。しかし一つ変わらないままのものがあります。それは、「われわれは奉仕する」ということ。

私は、ライオンズが他のいかなる奉仕団体にもまねのできないほどの違いをもたらしていると信じています。私たちのモットー「われわれは奉仕する」を信じています。そして、思いやりの心と奉仕で結ばれている世界中のライオンズの皆さんを信じています。ボランティアという絆で結ばれた一つの家族として私たちは、社会奉仕のグローバルリーダーであるライオンズクラブ国際協会を成しています。

今年度私は、ライオンであることの真の意味を信じ、一人ひとりのライオンが違いをもたらすこと、そして力を合わせれば想像以上にさらに大きく世界を変えられることを信じるようすべてのライオンに呼び掛けています。

私は自らが信じていることに基づき、今年度次の三つの特別な目標への展望を設けました。

- 家族同様に仲間の会員と接することにより会員を増強および維持
- 100万本の木を植えるという特別なキャンペーンを推進力に、新たな高みへと私たちの奉仕を拡大
- 私たちが行っていることすべてに、これまで以上に多くの若者やレオを参加させることで、ライオンズの未来を構築

力を合わせ私たちは、世界中にあふれんばかりの奉仕を行い、前進していくのです。

国際会長  
ウィンクン・タム

「自分が行っていることは正しいのだと信じられないでいて  
どうやって他者にやる気を起こさせられるでしょうか？」

—ウィンクン・タム

## マイ・クラブ、マイ・ファミリー (私のクラブは私の家族)

「どこから湧き出たかを忘れた川が枯れるのは時間の問題」

— アフリカのことわざ

本組織の強みはクラブにあり、クラブの基盤をなすのは会員であると私は確信しています。2011～12年度、私は訪問先で可能な限り多くのクラブ会長と接するよう努めていきます。各地を訪問するごとに会長同士の会議を開催し、直に会うことのできない会長のためには特別なウェビナーを行いインターネット上でお会いします。私のメッセージを各クラブの会員に伝えるにあたり、クラブ会長を頼りにしていきます。

ご存じのように私たちはクラブを結成し、会員を増やすことに成功しています。事実、過去数年間は毎年会員増強を達成しており、これは他のどの奉仕組織も成し得ていないことです。しかしながら、この発展が長期の成功につながるかどうかは、会員を活動に参加させ、誇りを抱かせ、家族同様に会員に接するかどうかにかかっています。私たちは「マイ・クラブ、マイ・ファミリー (私のクラブは私の家族)」を理念とする必要があります。

これは次のようにシンプルなものなのです。—

**参加+存在意義+会員のケア+アットホームな雰囲気=クラブの成功**

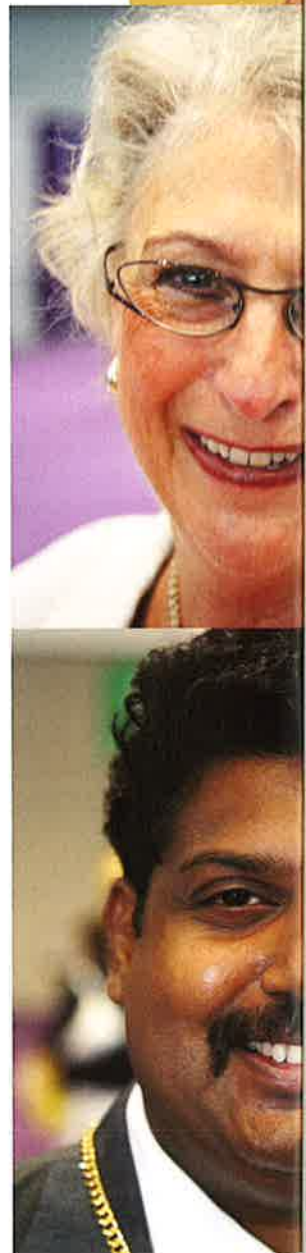
「完璧な子どもを育てようとするのは止め、子どもと最高の関係を築く努力をなさい」と書いた人がいましたが、これは、新会員について特に言えることです。新会員にやりたいようにさせるのです。それでいて常に傍で彼らを見守り、支援するのです。

成功を収めるクラブには、次のようないくつかの要素が組み合わされており、そのいずれもが等しく重要です。

- 効果的なオリエンテーション
- 入会初日から会員を参加させること
- 話すことより聴くことを重視するクラブ指導者
- 地域への奉仕を通じて固い絆を育むこと
- 互いを家族のように扱うこと

ライオンズの強みと成功はクラブレベルにあります。今年度私がクラブに取り組んでいたきたい課題は、新会員オリエンテーションを、面倒な仕事ではなく重要な優先事項とすることです。会員を思いやり、互いを尊重し合い、家族同様に接し合う雰囲気を作りだしてください。新会員チェックリストを作成し、それに従うのです。歓迎されていると感じてもらえるよう、自分は新会員に接したかどうか、自分は新会員に責任を与えたかどうか、自分は新会員からの意見を大切に、彼らの考えを尊重したかどうか、自分は新会員に家族の一員と感じてもらうよう接したかどうか、といったことを考えてみてください。

新たな奉仕を手掛けることにより奉仕がもたらすインパクトを高めることで、平凡なものを非凡なものにしてください。例会よりも奉仕に多くの時間をかけてください。そうしたことをすべて行えば、クラブは繁栄するはず。「われわれは奉仕する」の「われわれ」の本来の意味を見つめ直しましょう。



## 家族会員プログラム

家族会員プログラムは、家族会員に対する特別な会費制度をはじめ、クラブ活動に子どもや十代の青少年が参加できるプログラムを提供することにより、家族が共にボランティア活動に参加することを奨励するものです。

一人目の家族会員（世帯主）はチャーター費／入会費と全額の国際会費を支払います。二人目以降四人目までの有資格の家族

会員が支払う国際会費は半額となり、チャーター費／入会費は免除されます。家族会員プログラムは、親、子供、配偶者、おじ・おば、いとこ、祖父母、義理の親族等、血縁、姻戚関係、およびその他の法律上の家族関係にあり、かつ同居している家族が同一のクラブに所属しているか、あるいは入会する、ライオンズの会員としての資格を持つ家族会員に対して適用されます。



## ライオンズ家族カブ・プログラム

カブ・プログラムは家族向けクラブを支援するのに役立ちます。家族がともに奉仕することを奨励するため特別に考案された本プログラムを通して、12歳未満の子どもたちは、他者を助けることへの生涯続く献身の意を育てていこう。カブは以下の三つの年齢グループに分けられています。

- レベル1: 3歳以下
- レベル2: 4歳～7歳
- レベル3: 8歳～12歳

カブ・プログラムを実施するライオンズクラブには、子どもたちやライオンズ会員、そして家族のライフスタイルとニーズに合わせてカブのアクティビティを組み立てることが奨励されます。プログラムをサポートするため、ライオンズクラブ国際協会では、ライオンズ家族カブ・プログラム・アクティビティガイドのほか、年齢に応じたアクティビティ満載の家族カブ・プログラム・アクティビティや、カブたちがクラブの一員であると感じ参加が楽しみになる、年齢グループ別のカブ・バッジを用意しています。





## レオ

「自分がライオンになった時のことを覚えています。私はクラブで最年少の会員でした。入会初日から家族の一員のように扱ってくれました。私はまるで生まれたばかりの赤ん坊のように大切に育ててもらったのです。」

-ウィンタン・ダム

レオはライオンズ・ファミリーの未来。ライオンズの家系図における不可欠な存在なのです。ライオンズ・ファミリーの奉仕でレオの意義を高める時が来たのです。

レオクラブがきっかけで、ライオンズに入会した会員も多くいます。レオクラブは、地域社会に奉仕するユニークな機会を若者に提供するものです。川を例えにした話に戻りますが、多くの点でレオはライオンズクラブ国際協会の源流を成します。レオは奉仕に新たなアプローチをもたらしてくれます。すべてのレオが、新しく湧き出た奉仕の次世代を新たに育て続ける大切な水滴なのです。

会長を務める1年間、私はレオを活動に参加させることにより、彼らの見方を理解し、彼らのアイデアを求め、彼らのニーズについて理解を深めたいと思います。こうして得られたものは、「レオ変換プログラム」の向上に役立てられることとなります。また、韓国の釜山における国際大会でレオ/ライオン会議を開催することで、本協会をいつの日か率いることになる者たちともしっかり話し合いを行い、彼らをより深く理解したいと考えています。

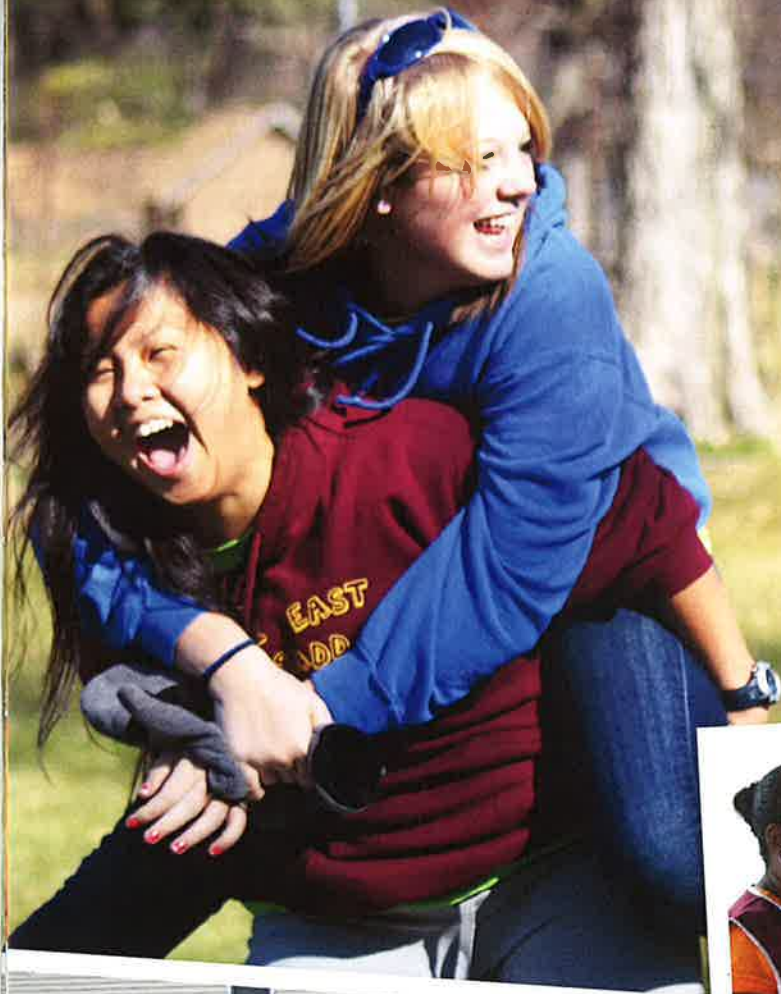


6 ライオンズクラブ国際協会



## レオ変換プログラム

元レオにはレオとして身に付けた指導力をさらに磨き、個人として、そして立派なライオンとして成長する機会があります。ライオンズへの変換がしやすくなるよう、ライオンズクラブ国際協会は、すべての元レオの入会費を免除するとともに、法律上成年に達しており、かつ30歳以下の元レオに対しては入会費の免除に加え、国際会費を半額とする割引を適用しています。



「積極的に青少年との活動を増やし、協力関係を深めていけばいくほど、私たちは青少年により良い奉仕をしていることになります。・・・奉仕のパートナーとして青少年とより包括的に協力し合えばし合うほど、私たちは地域全体での、公共に尽くす団体としての価値をいっそう高めることができます。」

ーカルメン・マルティネス

## 社会に還元することを信じます。私たちのモットー「われわれは奉仕する」を信じます。

「花を差し出す手にはほのかな香りが残る」

— 古代中国のことわざ

私たちが若手、古参にかかわらずライオンズの会員を気遣い、大切にすることと同じように、私たちの周りの自然を思いやり、大事にすること、そして私たちの地球をこれまでよりもしっかりと守っていくことが重要です。世界に私たちがあげることのできる最高の贈りものは、末永く残るもの。ライオンズとしての役割を果たし、私たちの環境保護に一役買うことにより、私たちが行っている奉仕の幅を拡大したいと思います。

## 私たちの地球、私たちの環境、私たちの責任

明らかに、環境の回復や公共の場の美化といったことに従事することは、自分の周囲をより心地よいものにし、楽しく生活することにつながります。

私たちの環境が重要なのはなぜなのでしょう？それは、ここが私たちの唯一の住む場所だからです。私たちが地球にかけた負担を取り除き元に戻せると多くの専門家は信じています。問題は、木を1本植えるなど簡単なことを行うことによってさえ、違いをもたらせるのだということをごく多くの人に理解してもらえるかです。

多くの人々が地域社会への奉仕に参加するのは、奉仕には具体的な成果以上の恩恵が伴うことを信じているからです。社会奉仕は、互いを支え合う豊かな社会、互いのことを知り、必要な時には手を貸し合う人々の住む社会を築くためにも役立つのです。

## 100万本の木を植えよう - 達成可能だとあなたは信じますか？

今年度私たちの奉仕の拡張において重要な部分となるのは、環境をいたわることです。今年度の私の目標は、世界中に100万本の木を植えること。会員一人当たり1本にも満たない数です。この目標を達成できれば、ライオンズは何であろうと成し遂げられることを、またもや証明することになります。視力ファースト・キャンペーンIIの目標を上回った時も私達はそれを証明しました。100万件を超える河川失明症の発症を予防した時も証明しました。そして、はしかの撲滅に協力することで私たちはそれを証明しようとしています。



樹木が環境保全に役立つことはよく知られていることですが、1本の木を植えることがもたらすさまざまな恩恵に驚かされるかもしれません。樹木は地球の肺のようなものです。二酸化炭素を吸い込み酸素を吐き出してくれます。また、浸食を抑えて土壌を守り、地域の水源を保護してくれ、ストレスが増す一方の野生生物に生息環境を与えます。端的に言えば、自分が住んでいる地域で植樹を行うことは実際に地元の環境のためにできる一番良いことのひとつなのです。

植樹は誰にでもできることです。ライオン一人ひとりが違いをもたらすためにできる、とても目に留まりやすい実地参加型の奉仕です。これはまた、地域全体に呼び掛け、地域のライオンズクラブとともに力を合わせて取り組むとよい絶好の事業でもあります。ライオンズとして違いをもたらす無限の可能性が自分たちにはあることを、私たちの誰もが知っています。100万本の木を植えることができれば、私たちの無限の可能性を強化することになるのです。ですから、今年度植樹をあなたのクラブ、または地区の活動の一部とし、隣人、友人、地域住民にも参加を呼び掛けてください。自分たちが植えた木が年を重ねるごとに大きくなっていくのを見ることほど、奉仕という私たちの贈りものを思い起こす素晴らしい方法が他にあるでしょうか？要するに、論より証拠なのです！

年間を通じて毎月、植樹本数の報告をライオンズクラブ国際協会ウェブサイトを通じて行うことにします。私たちが行っていることに対する誇りを示すために、クラブが独自の「植樹をしました」ボタンを作成できるよう特別なアートワークと証書が国際協会ウェブサイトに掲載されます。

リンゴの芯に隠れている一粒の種は、未来の果樹園。

— ウェールズのことわざ



## 「ビリーバー」賞

植樹をすることで奉仕の力を信じることを実証したライオンズを称えるための特別な賞を設けました。

- 地区については、少なくとも50%のクラブが植樹に参加した地区の地区ガバナーが、その成功を記念する「アイアム・ア・ビリーバー」楯を受賞します。
- クラブについては、各会則地域別に、植樹本数が最多の上位100クラブが特別な楯を受賞し、ウェブサイトおよびライオン誌でたえられます。また、植樹に参加したすべてのクラブに特別にデザインされたバナーパッチが贈られます。

## 奉仕を拡大しよう

奉仕を通じてライオンズは何百万もの人々の暮らしを改善してきました。今やこれまで以上に、私たちは思いやりのネットワークを延長できる状況にあります。世界の隅々にまで私たちの奉仕活動を広げることができると私は信じます。これは私たちの使命であり、責任なのです。

これまで以上のインパクトをもたらし、これまで以上に知名度と熱意を高めるため、今年度も国際協会の四つの「グローバル奉仕実施キャンペーン」への参加を全クラブに呼び掛けていきます。

- 青少年を重視 8月
- 視力関連活動 10月
- 食料支援 12月および1月
- 環境保全事業 4月

こういった世界規模の奉仕活動に各々参加することで、私たち一人ひとりの努力が、たとえ極めて小さなものであっても、「I Believe～信じる」が130万人のライオンの結束によって生み出される奉仕の力へと変わっていくにつれ、途轍もない違いをもたらすのです。しかし忘れてならないのは、私たちがあの最初の一滴の水のごとく、すべて私たち一人ひとりから始まるということです。

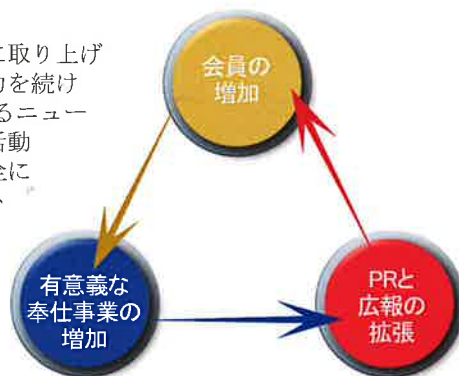


# より良いイメージづくりを私は信じます

「閉じたままの本は単に重ねられた紙にすぎない」

## ー 古代中国のことわざ

クラブおよび地区には、奉仕事業やアクティビティが報道機関に取り上げられ、私たちの存在が一般に広く知られるようにするための努力を続けるよう奨励します。報道機関は、視聴者、読者、その他に伝えるニュースとして、目に見える活動を求めます。例えば植樹などの奉仕活動は、地域社会全体で取り組むことが可能なものであり、環境保全に役立つだけでなく、報道機関を招いて取材を促す絶好のイベントともなります。つまり進展し続けるサイクルです。メディアによる報道はライオンズクラブに対する一般の認知度向上につながり、優れた新会員を誘い入れるチャンスも増すといった連鎖が起こるのです。私の言う「優れた」というのは、奉仕と本協会の理念に献身的な人のことです。ライオンズについて知る人が増えれば増えるほど、世界最大の奉仕団体に入りたいと思う人が増えるはずで



従来のメディア、例えばテレビや新聞などは今もお重要です。しかし、仕事を処理する方法やライオンズ内外に情報を届ける方法にソーシャルメディアがますます大きな影響を及ぼしてきています。私たちは多方面にわたって人々とコミュニケーションを交わし、彼らが利用しているインターネット上のさまざまなコミュニケーション手段、いわばデジタルの世界で情報を伝えなければなりません。これは、コミュニケーションを伝えようとする対象が若い視聴者であればとりわけ言えることです。

ソーシャルメディアを利用し、ウェブ上でネットワーキングをしてください。あなたのクラブは、

- ウェブサイトを設けていますか？  
設けていないのなら、Eクラブハウスという国際協会のツールを利用して数分でウェブサイトを作ることができます。
- フェイスブックのページを持っていますか？
- YouTubeにビデオをアップロードしたり、Flickerに写真を載せていますか？
- インターネットやソーシャルネットワークングについて実用的な知識のあるPR委員長を設けていますか？
- 新しくなったアクティビティ報告システムを使ってクラブの成功事例や写真を共有していますか？



私たちは利用可能なあらゆる伝達手段を使って、さまざまな視聴者に情報を届ける必要があります。ソーシャルメディアは、世界中の人々に直接ライオンズストーリーを公表するために私たちが利用できるもう一つの媒体です。

今年度、私たちはクラブと地区にウェブサイトだけでなくフェイスブックのページも設けるよう奨励していきます。ライオンズクラブ国際協会のウェブサイトに行って、フェイスブックのページを開設する方法をわかりやすく教えてくれるビデオをご覧ください。

# 指導力育成が違いをもたらすことを私は信じます

リーダーとは、その存在を意識させることなく仕事を終え、目的を達成した時に、指導を受けた者に「自分たちが力を合わせて成し遂げた」と感じさせる者である。

— 老子のことばより

ライオンズクラブ国際協会には優れたリーダーがいます。しかし私たちの未来を確かなものとするためには、新しいリーダーを育て続けなければならないだけでなく、さらに重要なこととして、指導的役割を務めるチャンスを与えなければなりません。私たちはライオンズに「力を合わせて成し遂げる」能力があることに自信を持たせなければならないのです。

学習は生涯続くプロセスであり、そうしたことからライオンズクラブ国際協会は、いかなるライオンにも研修が役立つと信じています。こうした研修は、ライオンズに入会して効果的な新会員オリエンテーションを受けた日から始まります。クラブを効果的に率いていくのに必要なスキル、価値観、熱意をもっている人をライオンズ・ファミリーの中から見つけ出すことにより、私たちは優れたリーダーシップへの決意を実証しなければなりません。そうして見つけ出したリーダーとなる可能性のある会員を適切な研修などを通して育てていかなければなりません。

ライオンズクラブ国際協会では、役に立つさまざまな研修資料や情報を揃えており、その中にはクラブ、ゾーン、地区の各レベルのライオン指導者としての活動を支援するために特別に考案された学習資料などもあります。クラブ役員、ゾーン・チェアパーソン、副地区ガバナーに関わる実用的な研修のほか、「クラブ向上プロセス」を含む、クラブの効果的な運営をサポートするための研修や公認ガイディング・ライオンの研修は、求められている奉仕を提供する私たちの能力を高めてくれると同時に、誇りと、本当の帰属意識を会員に植えつけてくれるでしょう。オンラインのリーダーシップ情報センターからは、こういった資料や、あらゆるライオンを対象とした個々の指導力育成のためのコースを取り揃えたオンラインライブラリ、ライオンズ学習センターにアクセスできます。また、ライオンズの研修を最新の情報を取り入れた最先端のものに保つ努力の一環として、クラブ向けの研修や情報・資料を開発するよう、理事会に働きかけるつもりです。

講師育成研究会プログラムは、効果的に研修を行うことのできる有能なライオン講師の増員を目的とするものです。上位ライオンズ・リーダーシップ研究会は、地区レベルの指導者の役職を担えるよう、ライオンを準備するための研修を提供します。

「聴く」という漢字はこの極めて重要でありながらも過小評価されがちな指導技能の重要な意味を明らかに示すものです。結果を生み出すリーダーとなるためには、「耳」と「目」と「心」で「聴」かなければなりません。全神経を集中して聴かなければならないのです。グローバル指導力育成チームを設けたことで私たちの協会は、指導者を務めるためにライオンズがどういった研修を必要としているかに一層効果的に耳を傾け、ニーズに見合った育成プログラム、そしてやりがいのある機会を提供することができます。





# 子どもたちは私たちの未来であることを私は信じます

ライオンズクラブ国際協会は長い間、子どもや若者への奉仕に力を注いできました。

私たちのプログラムはより安心して健やかに成長することを可能とするものです。私たちは、子どもたちへの奉仕を通じて教育と保健のニーズを満たします。ライオンズクエストを通じて重要なライフスキルを生徒に教えます。また、僻地にある村落に飲用水を運び、ストリートチルドレンのための施設を建設することで、そして世界中の各地域に固有の問題に対処するのに適したその他数多くのプログラムを提供することによって、解決と支援が切に必要とされる問題に対応します。

最近では世代ごとに呼び名がつけられているようです。ジェネレーションX、ジェネレーションY、ミレニアルズといった世代です。それよりさらに前にさかのぼると、ベビーブーマーがいます。現代の若者はこうした呼び名にあまり関心がないと思います。これまでの世代以上に、彼らは呼び名で区別されることを嫌います。自分たちを取り囲む世界に関心があるのです。他者を簡単に受け入れるこういった世代は、ボランティア活動に熱心で、その数はかつてないほどです。若者がボランティアを行う割合は大人の2倍（29%に対して55%）であり、これまで以上に、「世界をより良い場所に変える手助けをしたい」といったメッセージに強く共感し、他者の幸福を願う気持ちからボランティア活動をしています。ですから、世代の違いにとられず、ボランティア活動に参加させましょう。



## 模範が必要

有意義な奉仕事業に参加する青少年には数々の良い効果をもたらされることが多くの調査で明らかになっています。さらに、ボランティア活動をする親をもつ青少年が習慣としてボランティア活動に参加する可能性は約3倍も高いのです。若者には模範を示してくれる人が必要です。それが親、保護者、あるいは地域のリーダーであろうとなかろうと、尊敬できる人が必要なのです。ライオンズはりっぱな模範となります。奉仕事業の企画・実施に手を貸してくれるよう青少年に呼び掛けることでライオンズは、奉仕の果たす役目を強調しながら重要なライフスキルを青少年に身に付けさせる素晴らしい機会をもっています。

私たちが支援する若者一人ひとりが必ず責任感と思いやりのある大人に成長すると私は信じます。



## 私たちは奉仕に対するアワードを信じます

釜山での国際大会で授与される「奉仕アワード」は、奉仕の分野でクラブおよび地区が収めた優れた功績をたたえるものとなります。カテゴリーは以下のとおりです。

最優秀長期環境保全事業（クラブまたは地区によるもの）  
最優秀長期環境保全事業（レオクラブ）

青少年プログラムに結び付く最優秀活動（クラブまたは地区によるもの）  
視覚障害者に対する顕著な貢献（クラブまたは地区によるもの）  
視覚障害者に対する顕著な貢献（レオクラブ）

最優秀食料支援プログラムまたは活動（クラブまたは地区によるもの）  
最優秀食料支援プログラムまたは活動（レオクラブ）  
年間最優秀ライオンおよびレオ

最後のカテゴリーに対する推薦は、2011年4月1日までにライオンズクラブ国際本部PR部に送付しなければなりません。受賞候補者の推薦を行うことができるのは、執行役員または国際理事のみです。これは個人に対して授与されるアワードであり、奉仕に対する信念を身をもって示したライオンとレオだけが推薦されるべきです。

## 「ファーストビリーバー」賞

希望を運ぶ私たちのネットワークにさらに多くの人々、そしてクラブを迎え入れることが可能だと私は信じています。「ファーストビリーバー」賞は、着任後最初の4か月に会員増強で優れた成績を収めた地区ガバナーに授与されるものです。本賞には二つのレベルがあり、地区ガバナーはそのいずれか一つのみの受賞対象となります。受賞の資格要件は次のとおりです。

優秀：二つの新クラブ結成もしくは会員増加が、2011年10月31日の時点で達成されている

最優秀：五つの新クラブ結成もしくは会員増加が、2011年10月31日の時点で達成されている

新クラブのチャーター申請書はすべて、必要事項がもれなく記入された状態で、ライオンズクラブ国際本部の会員プログラム及び新クラブ・マーケティング課に2011年10月31日の終業時必着で届いていなければなりません。





## ライオンズクラブ国際財団を私は信じます

ライオンズは思いやりのある人たち。それは今始まったことではありません。他者を気遣うライオンズの人脈ゆえに私たちの財団は、世界中に何百万ドルもの援助金を交付し、文字通り、何百万人もの人生を変えることが可能となっています。

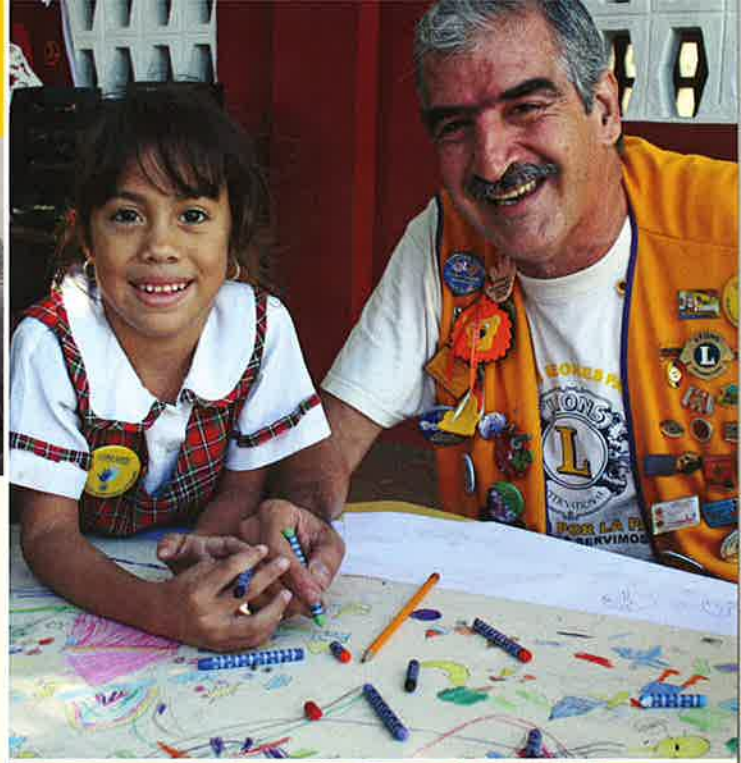
ライオンズクラブ国際財団 (LCIF) は、世界各地で奉仕するライオンズを助けるライオンズです。LCIFを通じてライオンズは痛みや苦悩を和らげ、世界中の人々に癒しと希望をもたらすのです。

LCIFに寄付をすることは、人々の人生を少しでも良いものに変えるための素晴らしい方法です。LCIFへの寄付は1ドル残らず交付金として活用されます。いかなる寄付も、誰かがより健全に、あるいはいっそう充実した人生を送るのに役立つのです。

LCIFは発展し続けており、他の組織はそれに気が始めています。企業や政府などのパートナーシップが年々増えていますが、LCIFを新たな高みへと引き上げ、切迫したニーズを抱えている人々を次々と援助することができるようにしているのは、ライオンズの会員であるあなたなのです。

私は幸運にも1回目の視力ファースト・キャンペーンと2回目の視力ファースト・キャンペーンIIの両方にかかりました。これらのキャンペーンを通じて私は、ライオンズが一つの家族として団結すると何が可能であるかをこの目で直に見ました。その結果、私たちは集まった多額の資金を現在有効に活用することができているのです。

ライオンズクラブ国際財団を通じて私たちは世界に違いをもたらすことができると、私は心底信じています。



Lions Clubs International  
**FOUNDATION**

# あなたは信じますか？

地球には70億の人々が住んでいます。そのうちの3分の一以上が貧困に苦しんでいます。つまり、これらの人々は食べる物に事欠いていたり、きれいな飲料水を手に入れることができないでいたり、標準以下の住居に住んでいたり、あるいは適切な医療を受けられないでいます。多くがこれらすべて、あるいはそれ以上の困難を強いられているのです。

貧困、住居喪失、虐待、病気、心身の障害が何百万という人々を苦しめています。ライオンズクラブ国際協会がすべての問題に対応することは不可能です。いや、可能でしょうか？

私たちは少しでもこうした人々の役に立てると、私は信じます。たった一人の人を助けることでも、他者が習うべき手本となると、私は信じます。世界規模のボランティア家族を信じます。私たちは社会奉仕におけるグローバルリーダーであると、信じます。ライオンズの力を信じます。

信じる心をもって今から次のことを行ってください。

- 植樹キャンペーンを開始する
- 「マイ・クラブ、マイ・ファミリー（私のクラブは私の家族）」というコンセプトを取り入れる
- 新会員をクラブの活動に参加させる
- これまで行ってきたPRプログラムの活性化を図る
- 奉仕事業を拡張する
- ライオンズの未来を担う指導者を育てる
- LCIFを支援する



信じるのです  
あなたは違いをもたらすことができます！